夕刊
磐城新聞
五月十二日發行
日曜祭日翌日休刊

深坑又は溫泉湧出地帶坑内空氣の調節

長久保　赳

日立電力社員東北帝大工學部門部出身の同氏は深坑又は常磐溫泉いう出地帶に於ける坑内空氣の調節に關し永年の研究に係る論文を此程母校の校友會雜誌鎭山號に發表したが次はそのアウト・ラインである。

内容梗概

深坑又は常磐の溫泉湧出地域内に在る炭坑に於ては其切羽が非常に高溫多濕となり人坑者の疲勞を極度に增加させる結果、影響作業能率を低下するのみならず、多くの點で損害を受ける最大原因になる、それ故に之が克服は刻下の重大問題である

最も蒸し暑い夏季に於ける人体に最も適した理想的空氣狀態は已に約65%の濕度なることは知られてゐるが、常磐では地下300M邊の坑内で已に35、COの冷却水を求めることは困難なる500、90%と云ふ狀態であり、今日の如く尙は深部の採掘とせねばならぬ狀況に於ては切羽に於ける空氣狀態の惡化は甚しく、將來益々之の勢が助長せらるることは想像に難からざる處である。空氣狀態の改善に當り誰も考へ得ることは適氣量の增加であるが、之とて實際には數量の流通する間に周圍の岩石の溫度に近くなるので如何しても何か根本的な對策をせねばならぬ事になつて居る、そこで今假に之等の諸切羽が理想的空氣狀態に改善せられたものとすると入坑者の工程は柔してどの程度に延伸されるかを調査して之が空氣改善の爲の諸經費と對比の試驗として充分の償あることを明にしてある、之が爲に基本の熱計量を示し最も能率的なFA MOLL、COの冷房裝置を提示して居る

次で氷式による冷却機による冷却水を求めることは困難なる輕便に使用出來るSKODA、COのCHLOR・THERMOの試驗をなし、其實績から充分の確信を得て小切羽の實際設計を明にしてある、

6切羽に於ける氷式冷却機の試驗　7移動冷却裝置の試驗　8結論

坑者の保健上一刻も忽に出來ぬ重要なものたるを思ひ之が實現に重大關心を有して居るものである

（目次）1緒言　2理想的空氣狀態。3各坑々内に於ける空氣狀態　4工程增進の豫想　5一方80人一日出炭120噸位の切羽の冷却

憶吉田禮次郎君

珠雲　小野藤平

事業營々期革新
堅貞志操絶倫倫
當年所唱今方就
惆悵無由見此人

椿の唄

德重　千歳

椿　椿
眞赤な椿
落ち花つなど
長くつなど
きれいな花輪は
誰に上げよ
春の花見の
山かげに

蛙

寺門　瞬花

蛙鳴く田水ゆたかにたゝえけり
移り住んで蛙聞く夜となりにけり
つぎ〳〵に蛙とび込む波紋かな
土砂降りの中に音を聞く蛙かな
貴ひ風呂に思ふ事なし夕蛙
灯に急ぐ夜釣の歸路や蛙鳴く
外風呂にうと〳〵聞くや夜の蛙
代掻くや萬鍬飛び飛ぶ夕蛙
ほのかにも水明りして蛙鳴く
遠蛙夕べの風のおさまりぬ
足洗ふ畑疲れや夕蛙

平　籔子
島崎　天望
俳仙室蕉蹊
若尾　梓弓
木戸　千可
小原　流山
小澤　淀水
後藤　基二
江川　月泉
森　翠雨

寸談　下

村野　男三

辭世は、社會の大空に向つて放たれた遺言狀である。五萬圓を太郎に三萬圓を次郎にと云ふやうな、そんなしみつたれた遺言狀とは、いさゝかわけが違ふ。必ず名言狀であり、思想の遺言狀である。愈々處斷と云ふときに、辭世を、と之を求めると、大抵の者は目を上につけて、一首を求めてゐるものである。中には、ない、と之に應じない者もないではない。前者は生命を一首の和歌に殘して從容として死に就き、後者は不滿を心に抱き憤懣をこへ狂ひ辭世に對して首切り浅右衛門が述懷しとして死に就く。とかうかどうかは知らないが、私はそう考へてゐる

私が今短歌が發表しても誰も取り合つてくれないかも知れない。が、少しは何人に鞭打つことを差控へる所を遺憾なく發揮して、死の茶と名前が賣れて來ると外喧嘩がお好きで、死んだ人ちや相手にならんからと批評をせんのかも知れない

どんなやくざ育ちの人間でも、一度は歌人の氣持になれるものであると云ふことは否めない事實である

私は既に詩人が死んでゐるのだから、そこは本人の長所を遺憾なく發揮して、死人に鞭打つことを差控へる外喧嘩がお好きで、死んだ人ちや相手にならんからと批評をせんのかも知れない

どんなやくざ育ちの人間でも、一度は歌人の氣持になれるものであると云ふことは否めない事實である

こぼれて散つた
紅椿

椿　椿
紅椿
小鳥は
木蔭で唄つてる
つないだ花輪は
小鳥に上げよ
たのしい春は
公園の
芝生の上で
おどつてる

△松平定信逝去（文政一二）△幕府、各國と燈臺條約締結（慶應二）△『公選法』公布（明治二）△谷干城薨す（同四四）△伊佛空軍同盟成立（昭和一〇）

5月13日

小說　高橋是清

（11）　松浦泉三郎作
佐々木今朝吉畫

この親子ぞ！　（一）

安政三年二月末

うらうらと長閑な、大江戸の春は、間もなく黃昏を迎へやうとして、うたゝ寢の美女のやうに、靜まり返つてゐた

赤坂氷川神社の閑寂な靈地

春らしく霞んだ空には、鳶が一羽、悠々と言ふ文字を虛空に描いたやうに、大きく、輪形に、飽かず舞ひつゞけてゐた

木瓜の甘い香りが、有るかなしかの微風に乘つて、はのかに漂ふ中を、鳩が、くゝくゝと、眠げに鳴きながら餌を求めてゐる

仙臺藩の江戸詰足輕、高橋覺治は黑木綿の五ツ紋に臙脂の細身の大小を佩いて

兩腰に組みながら長い石段を數へるやうに、ゆつくりと登つてゐた

その背後から幼兒を背負つた妻の文が、粗末な綿服を身だしなみよく着こなして、幸福さうに從つてゐた

丸々と肥ゑて、賢しげに輝く眸に世悅を浮べながら絶えず鳩の影を追つてゐた幼兒は今は三歲の春を迎へた、和喜次だつた

ひの、ふの、みいと、子守唄の代りに數を讀みながら一つ一つ石段を登つてゐた文が、背に躍動する和喜次に氣付いて

『まあ、坊は……』

と、珍らしい發見をしたかのやうに覺治に呼びかけて

『先程から、何を喜んでゐるのかと思ひましたら、こんなに一生懸命にはとを見て居りますの、坊はそんなに、はとがお好き』

『ホヽウ。はとが氣に入つたか』

『さもあらう。近頃は御用繁多の爲、かうして外へ連れ出される事も餘りなかつたで、はとばかりでなく何も斯も珍らしく、嬉しいのだらう。ホヽウ、喜んで暴れてゐるな、子供は頑是ない、可愛いゝものだな』

『いまにお父樣に、坊のお家にもものやうな鳩を飼ふて戴きませうね。おゝ賢い賢い』

『鳩を飼ふか。それも宜からう。だが、かう落付かぬ世の中になつては、仲々鳩を飼ふ程の暇はないぞ』

『それに、仲々わしのやうな身分ではな』

『ほんに……』

『ほヽほヽ……。鳩のお寢間が御座いませんか』

『ははは……』

『ほヽほヽ……』

晴れ〳〵と笑つた父母の顏を見較べて、和喜次も聲を擧げて笑つた

『それ、もう直ぐだ。登るともつと鳩がゐるぞ』

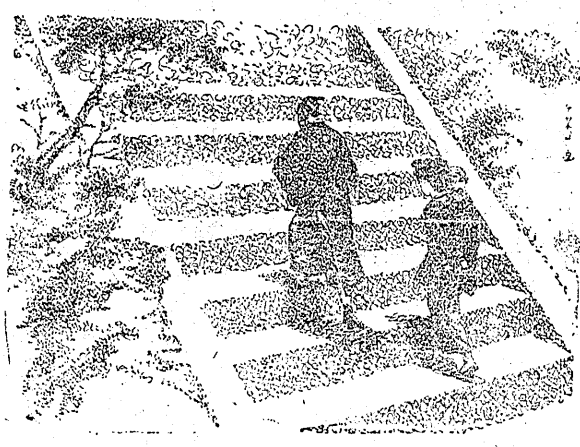
『ひの、ふの、みい……』

石段を登り切ると、靈地特有の神さびた閑寂さが、いやがうえにも流れてゐた

一時柔靭しい勢で流行した千社札の、剝ぎ切れず、二三枚高く貼り殘されてゐる、大鳥居をくゞると、眞ッぽい眸を、大きく見開いて

『まあ！』

と、吃驚したやうに言つた



廣告

共存共榮
融金易簡
謝意感謝
趣味即醫

洋食
宴喫
茶
會
平町
コンパル
電話六六六
毎度有難う
御座います。

心ヨク通ジ藥
アロフエノール
平田町
阿部藥舗

御宴會
サービス自動車
閣体十人樣以上にはお迎ひの自動車を差上げます。
（北は平町・南は植田町まで）
毎度格別の御贔屓いたゞき難有く御禮申上げます。
愈々御宴會季節と成りましたので・御宴會の御下命賜り度。
團体樣には德用な下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度御願申上げます。

松印	3.50	御會席七品付（外果物。御飯香物）藝妓花代。御酒。入浴料。サービス料	共一式
竹印	3.00	御會席六品付（外果物。御飯香物）藝妓花代。御酒。入浴料。サービス料	共一式
梅印	2.50	御會席五品付（外果物。御飯香物）藝妓花代。御酒。入浴料。サービス料	共一式

但十人樣以上ノコト　藝妓ハ五人樣毎ニ一人二時間（松印ニ限リ半玉十人樣ニ一人付）御酒ハ御一人銘酒二本ヅヽノコト
◎お申込みは時節柄なるべく至急下記へ
お問合せは電話（小名濱）103番
通話料は弊館にて負擔いたします。
小瀧鑛泉　瀧乃湯旅館
電話103　割烹部

石炭
時節柄ダンゼン値下げ！
一等塊　正味五十斤入一俵　金二拾八錢
特塊　同　同　金二拾五錢
品質が優良（デナケレバ値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス）
目方が正確
此の點は當店を絶對に御信用願ひます。
▲市内は一俵より迅速に配達致シマス。
電話三七番
石炭　コークス　豆炭
阿部石炭商店

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
鰹節　食料品
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

耳鼻科
咽喉科
專門
平町南町一六番地
大和田醫院
（入院隨意　病室完備）
電一七〇番

急告
豆タク！の出現
豆タク！
春のドライヴに、商用に
迅速　低廉
市内　三〇錢
市外地　普通料金四割引
鈴木自動車豆タク部
四丁目　電話二一七

外科一般　特ニ内臟外科
皮黴科。肛門病科
北川外科
レントゲン科
物療法科
平町新川町（諸橋醫院跡）
醫學博士　北川芳夫
醫學士　奥　義弘
イツデモ入院デキマス。
電話四六四番

流行ノ下駄ト草履ハ！
ドコヨリ安イ
南町　三井ハキモノ店
（小僧さん入用）
電話一八一番

返應即座、即時乞御試
オレンヂパスタ
神經痛、リウマチス、咽喉痛、筋肉痛、肩のコリ、
福島縣平町字新町二十二番地
桑原柔道整骨院
電話六七四番

産婦人科
花柳病科
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番
午前宅診
午後往診
入院應需

◎日本石油株式會社特約店
フィジングサン石油株式會社重油特約店
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油、植物油、胡麻油、種油、コールタール、石炭、カーバイト、ストーブ
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戸線下館驛前（電話五五・三三九番）
茨城縣土浦町田宿（電話六五三・八二四）
支店所在地
常磐線關本驛前（電話平六五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
久慈濱支店（電話一三七番）
海上給油（大津、平、濱）
及油槽所（小名濱・江名濱）

産婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
入院隨意　病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

事業界の活況を語る

送炭量の飛躍的増加

明朗な今月上旬中の統計

山神祭典の關係から前旬中發送高に一寸狂ひを見せた常磐各山元の炭況は其後正常に還つた今月上旬分こそ其實際狀況を物語るものとして一部關係方面から正確な數字的推移を注視されてゐたが、鑛業會最近の發表によると

營業用四、二四七車五一、一九五瓲　省用一、四八〇車一八、六七九瓲合計五、七二七車六九、八七四瓲

で前年同期に比し

營業用(增差)六五七車七、八二四瓲　省用(減差)六一車五一四瓲

差引五百九十六車七千三百十瓲の飛躍的增加を示し駸々乎たる一般事業界の活氣を證據立てゝ居る

漁業收益增加

郡下の所得稅調査會に反映した濱景氣

平稅務署管内に於ける第三種所得稅、營業收益稅の調査委員會は資本利子稅、臨時利得稅と併せ過般來同署樓上に於て開催中であるが、何せ所得稅のみで納稅人員が千三百餘の多數に上り之に對し一々賦課の適正公平を期しての調査丈けに其間の苦心は他の想像をゆるさぬものがあり、終了迄にくである

增減等に就き差當り眞に近い豫測もつかぬ有樣である時利得稅と併せ過般來同署が前年に比し各方面の經濟界に幾分の彈力を加へ來つた事情から觀察し一般的に多少の增加を來すべく殊に比較的豊漁に惠まれた漁業收益の增加は殆ど既定の事實と觀られてゐるものの如

けふの委員會に米管法阻止運動

平からは菅本氏參加

先年來全國米穀商間に大問題となつてゐる米穀自治管理法案の委員會は今十二日開かれたが之より先縣下同業組合では若干の實行委員を擧げ之が阻止運動に當り平町からは菅本庄治氏が之に加はつて過般大阪に於ける大會以來引續き奔走中である。右に關する運動は時節柄餘り表面的行動に出ずを避けては居るものゝ全國的に堅い結束の下に行はれ今十二日は全國組合の名で都下十一新聞に裏情を訴ふる處あつたなど頗る底力ある對策を講じて居るので結果の程が刮目されてゐる

滿洲國警士

合格者決定

去月二十、二十一の兩日仙台聯隊區で行はれた滿洲國警士採用試驗に平職業紹介所扱ひの受驗者十二名中合格者は左記八名で好成績であつたと

相馬郡原町　歩伍秋葉秀治
石川郡浅川町　歩伍永久保良中
内郷村宮歩上笠木

優良煙草屋さん

―きのふ六名表彰さる―

平地方煙草小賣人役員會は昨十一日マルトモホールに開き決、豫算を附議後左記優良小賣人の表彰式を擧行した

小名濱佐藤丑次　平藤倉ウメ　内郷草野彦太郎　四倉佐藤英喜　上遠野後藤美弘　上小川兼本要之助

氣を吐く入山選手

森山棒高、青野砲丸に北日本大會新記錄

弘前陸上競技協會主催第三回北日本陸上競技大會兼オリンピック奥羽地方豫選第二日目の十日福島縣選手入山炭坑の森山東吾君は棒高跳に出場、三米五〇を跳んで本大會新記錄を出し一等を獲、又同坑青野輝夫君は同じく砲丸投(一三メートル一一―大會新記錄)圓盤投(三二メートル九九)に それ〴〵一等を獲得萬丈の氣をはいた

平商關西旅行

けふ出發

平商業學校五年生六十九名は中村、宮澤兩教諭引率の下に今十二日午前五時十五分平驛發列車で左記プランにより關西旅行(四泊五日)に出發した

十二日名古屋泊　十三日名古屋市内見學　伊勢大廟參拜　二見見學　奈良で夫泊　十四日奈良市内見學　桃山御陵參拜　京都泊　十五日比叡山參拜　嵐山スで夏の領域へと近づき、汽及び市内見學　車中泊　十六日東京市内見學　自車、自動車の中でも、映畫由行動　午後一時五十分館でも、カフエーのボック上野發　七時三十七分平

江名に名レイサンン

著解散

江名町漁業(七)を誤つて轢き倒し有は組合では去月二十五日の漁船長勢丸遭難に鑑み此程同町大字江名字北町地内にサイレンを設置今後暴風雨に際しこれを鳴らし漁船入港の目標にする

新清滿目

薄着でも汗ばむ位

―急テンポで夏氣分へ

世はまさに女性禮讚の季

比較的雨勝ちだつた晩春から初夏へ――と、思ふ間も無く合ひ着では一寸汗ばむ位に急テンポ

白い麥藁帽を頭にした農夫が鍬を打ち込んでゐるのが目につき、

ため關東から北にかけて一般に南よりの暖かい風が吹いて來るのです、まだ本調子の初夏ではありませんが、こゝ二、三日の温度はたしかに初夏らしい温度でせう

と云つてゐる。一歩足を郊外に持つて行くとそこには菜の花は今を盛りと黄色く

磐越線列車事故の遭難者慰靈祭

近く川前驛で執行

磐越線川前―小川郷間の列車事故であまない最期をと盛大に執行する事となり目下準備を進めてゐる

仙臺局の手により川前驛で

暴れトラックに轢れ

幼兒、頭部を目茶〳〵

昨夕小名濱地内の椿事

田人村大字黒田字一の倉貨物自動車業綠川良義方運轉手安積郡木幡村大字外木幡生れ高槻清吉(二六)は昨十一日午後四時頃トラックに船板を滿載、小名濱町字下神明町九地内縣道を疾走中前方で遊んでゐた同町中坪九竹中スセ方同居人神田有君(七)を誤つて轢き倒し有は頭蓋骨を骨折間もなく死亡した、有君は東京市王子區神谷町二丁目一、二〇五に居るうち兩親に死別、最近祖母に當る竹中方に預けられて間もなくこの災厄にあつたもので附近民の同情を集めてゐる

小名濱港のケーソン沈下

目下着々進工中の小名濱築港防波堤工事最終のケーソン(函塊)沈下は明十三日行はれる、ケーソンは長さ十間巾五間、價額約二萬圓

水難救護會總會を此程開き一層々本年度事業に關し打合せ、終つて總會を開いた。水難救護會總會　江名町

只飲常習男

近く平區で公判

住居不定無職山形縣南村山郡堀田村生れ金子常松(五)に係る詐欺事件は近く平區で香西判事係り清田檢事關與公判開廷される

同人は明治三十四年窃盗罪で禁錮六月に處せられたを皮切りに、窃盗・詐欺、横領等前科十五犯を累ね、二十七の年から二十二年間の殆ど全部を刑務所で過し、出ては直ぐ遣つては又入るを繰返し

一の鯛

―廻游近づく

各濱意氣込む

豊間・小名濱各大敷網は既に投網を開始し連日朝夕二回宛揚網してゐるがサバ、イワシが豊漁續きで非常に活氣づいておる、なは沿岸水温は寒冷を脱し高温に復したので鯛の廻游も間近にあるものと見られ本月下旬ごろには待望の鯛の大漁あるものと豫想されてゐる

出世双六九十組

最高は三人の根本君

磐中兄弟在學者調べ

磐城中學校では此程全校生徒千二百餘名に就いて兄弟にして在學し居るものを調査したが、三人在籍するのは四年、二年、一年の根本君兄弟のみ、その他左の如く『兄弟出世双六』の卵九十組あつた

五年四年―一　五年三年

汽車が一番多い

磐中の通學別調べ

磐城中學では此程全校生の通學別を調査したが、自宅より徒歩によるもの最多なのは勿論だが知人宅下宿よりの者各八名、自炊せるもの五名あると

徒歩五六三(自宅より五一五、親戚より三一、知人宅より七、下宿より八自炊二)汽車四九四(自宅より四八二、親戚より八、知人宅より一　自炊三)自動車二〇(自宅よりのみ)自轉車六九(自宅より六八、親戚より一)

公園の名物躑躅は

この日曜頃が見頃

一兩日中には點燈開始

初夏の松ヶ岡は色とり〴〵の躑躅で彩られて行く――はや咲き揃つた處もあるがこの日曜日が丁度見頃だらうと云ふので目下電飾裝置の準備等に忙しい、一兩日中には第一公園の躑躅園に亘つて一齊に點燈し尚五色燈によつて夜景に一入の精彩を添えると云ふ寸法、町でも人寄せ狀の發送やら遠來客の吸引策に大童だ

現在では極めて巧妙な無錢飲食宿泊遊興をおぼへ今度も昨年五月山形刑務所を出獄、米澤市で無錢宿泊數件を働き、勿來町大日本炭鑛勿來坑の坑夫に雇はれた後、同年八月中平町二丁目大村屋方で九圓の宿泊、本年四月十七日平町驛前新開旅館で八圓餘の宿泊、谷口樓で約四圓の遊興、南町越中家で約二圓の遊興を、何れもラヂオで遣らかしたもの

氷屋へ轉向工作

芋菰撤廢の跡へ

涼しい硝子の籠一兩日來の氣温上昇にリヤカーの移動アイス屋が時を得顔に活動し初めたので、町内のそちこちに燒芋屋から氷水屋への轉向工作が行はれ一層初夏氣分を唆つてゐる

―一二　五年二年―一三
五年一年―一二　四年三年―六　四年二年―一一

拈華微笑

今日の問題

此程富山市に開かれた全國都市計劃協議會で――從來の都市計劃は餘りにも都市のみに偏し附近の町村及名所舊蹟等を考慮に入れなかつたのが欠點で今後は既定の都市計劃を包含した地方計劃を樹立の具体案が會議の中心であつた――そうである。平町に於て著々進められつゝある都計乃至市制準備が果して滿全のものであるかどうかは姑らく云はず、平町民をはしめ關係隣接村民は須らく斯うした時代の空氣に呼吸し其進退の宜しきを誤らぬ樣戒心一番すべきであると思ふ

×

來月下旬頃臨時縣會が招集される事になつた。戒嚴令下に開かれた議會が極めて異例であり、議會は此際飽く迄國民の輿望する審議機關の重任を完ふする必要ある如く、東北振興、雪害對策と云ふ重大問題に當面する臨時縣會に對して縣民の之に繫る期待は蓋し頗る重且つ大ならざる

事務簡捷を圖る部署の廢合が當世向きであると考へて居た矢先、縣廳祕書、人事、文書各係の課昇格は一寸意外だ、之に因つて所謂繁文縟禮の煩瑣を加ふるの結果とならねば良いが、この懸念が幸にして素人の杞憂に終らん事を祈る

×

陽飽く迄明るく、鋪道を駛る撒水車から立つ紅霓に初夏氣分を點だ

天氣豫報

今晩は南の風薄曇、明日は南東の風曇後雨

小名濱測候所測

公社債株式現物賣買

照山株式平支店

主任　常盤光威

福島縣平町田町五
振替東京八八一六三番
電話四十六番

小店員募集

（十五、六才）
委細面談

耳鼻咽喉科

高柳醫院

平驛前（電三三六）
醫學博士　高柳博明

（入院應需　自炊ノ便アリ）

五十嵐

醫院

平町新川町一二
婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
電話三七〇番

（入院應需）

勉強ノ店

（良クテ安イ）

建築美品
床柱、天井板、ベニア板
新入荷品、秋田杉四分板、
山川印優品建具材
平町紺屋町

織田材木商店

内外建築材一式　銘木
便利瓦、木羽
電話平四六〇番

◎建築木材類ノ御用命ハ誠實勉强ノ當店ニ◎

夜診

胃腸　内科　胃腸病科

性病　花柳病科　性病科　皮膚科

專門

松村醫科院

（平町南町電一〇七番）

（見習看護婦募集）

療養間

▲五黄　内輪もめさへ無ければ自ら發展し行くべし▲六白　自重して進めば大吉なり企業婚談皆成る日▲七赤　引立てにあふて昇進する日開店名弘皆吉▲八白　事業選たくに苦しむ日急げば不覺をとる▲九紫　目上の善處を受けて努力すれば成功する日

十三日

日出　四、三四　月出
日没　六、三三　月没前　九、五九
満潮　前六、二〇　千潮　前一、〇〇
　　後九、三五　　後二、〇五

路判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館

巽　水際　新
三　月　五
十二月三日
先勝　乙未
滿壁宿

▲一白　内には穏なれど外には不信を招き易き日▲二黑　平凡の如く見ゆれども根氣次第利得ある日▲三碧　先を見込での賣買は失敗に陥り易き日注意▲四緑　初めは運氣弱けれど次第に吉と成る